

# 県南版

定価1222円  
 〒A X (40) 1222  
 長野県信濃郡  
 飯沼町1123  
 〒A X (20) 1123  
 小田原市  
 飯沼町1123  
 〒A X (20) 1124  
 飯沼町1123  
 〒A X (20) 1124  
 飯沼町1123  
 〒A X (20) 1124  
 飯沼町1123  
 〒A X (20) 1124  
 飯沼町1123  
 〒A X (20) 1124

## 障害者の自立 音楽で支援

### 栃木の福祉作業所

### 5月初のコンサート

### ゆかりの米良さん招く



福祉作業所など主催するコンサートに出演する米良さん

【栃木県】「日本の福祉作業所」の運営に力を注いでいる米良さん、5月初のコンサートに出演する米良さん。米良さんは、5月14日午後8時〜9時、栃木市文化館大ホールで、コンサート「歌者米良さん音楽会」に出演する。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。

今下新聞より

私たちは障害者が地域の人々とともにいきいきと生活していける「村づくり」をすすめています。

# はばたけ

NO 45

1999年 9月 1日発行  
 栃木障害者の自立をめざす会  
 事務局：〒328-0123  
 栃木市川原町402-2  
 中山 全夫 Ⅱ 0282-23-3236  
 〈会員数 現在 231名〉

## はばたけコンサート1999 米良美一の夕べ

2,575,156円の収益がありました！！

栃木市文化会館の大ホールをほぼ満席にし、大きな成功を収めた「はばたけコンサート」の実行委員会反省会が、8月4日 喫茶じりんぼにて行われました。実行委員長より以下のような収支決算が報告されましたが、収益は約257万円と目標額を達成することができました。あらためてご協力いただきました皆さまに心より感謝したいと思います。また、来年も、より質の高いコンサートが開催できるよう準備を進めていきたいと考えていますので、引き続きのご協力をよろしくお願いします。

《収入》	チケット代	4,183,100	
	広告収入	240,000	
	雑収入(寄付金等)	126,822	
	計	4,699,922	円
《支出》	演奏会経費	1,736,981	
	販売手数料	74,240	
	その他経費	313,545	
	計	2,124,766	円
《利益》		2,575,156	円

会場が定めて、今後も音と歌の年に、コンサートを開いてほしい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。多くの人が来たい。

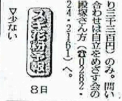
### 授産施設建設に歌声で一役

## 米良さん、栃木で公演

### 障害者自立会主催

【栃木県】「日本の福祉作業所」の運営に力を注いでいる米良さん、5月初のコンサートに出演する米良さん。米良さんは、5月14日午後8時〜9時、栃木市文化館大ホールで、コンサート「歌者米良さん音楽会」に出演する。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。

米良さん、5月初のコンサートに出演する米良さん。米良さんは、5月14日午後8時〜9時、栃木市文化館大ホールで、コンサート「歌者米良さん音楽会」に出演する。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。米良さんは、音楽を通して、障害者の自立を支援する活動を行っている。



8日

「まひるのほし」の上映会が、栃木市文化会館にて8月8日(日)に行われました。自立の会としては3回目、障害者福祉映画会としては2回目の映画会となります。午前部の部と午後部の部の2回で、上映の前には会長のあいさつと、ゆうの家の仲間や栃木養護学校の実習生・学生ボランティアの皆さんによる手話歌「花へすべての心の人に花を」が披露されました。

この映画は7人の知的障害を持つアーティストたちの創作活動と、それを支えている暮らしを記録したもので、「とんでもなく深い何かを表現している彼らの創作活動を通じて、言葉にできない気持ちや心を描けないものか」と佐藤真監督は独自の切り口でカメラを回し、私たちに新鮮な驚きや感動と、そして見終えたあとに何となく元気が湧いてくるような映画でした。

観客数は約200名と目標人数を大幅に下回り、少し残念な結果になってしまいました。これは実行委員体制を作らなかったこと、宣伝活動が不十分だったことや日程的な問題など、いくつかの原因が上げられるのですが、内容の濃い映画だけでもっともテーマを掘り下げて、見どころを関係者に訴えていく努力と工夫も必要でした。

映画を観ていただいた方々よりアンケートで寄せられた感想は、「難しかった」という方もいましたが、おおむね好評で、会場でも数名の方に自立の会に入会していただくなど、映画を通して「障害者福祉の共同の輪を広げていく」という目的は多少なりとも実現できたのではないのでしょうか。今回の反省をふまえながら、これからも栃木で障害者福祉映画会を第3回、4回…と続けていきたいと思っておりますので、引き続き会員の皆さんのご協力をよろしく願います。

# 障害者が伸び伸びと遊べる施設を

「入場料を建設費に」あす市内で自主上映会

「まひるのほし」の上映会が、栃木市文化会館にて8月8日(日)に行われました。自立の会としては3回目、障害者福祉映画会としては2回目の映画会となります。午前部の部と午後部の部の2回で、上映の前には会長のあいさつと、ゆうの家の仲間や栃木養護学校の実習生・学生ボランティアの皆さんによる手話歌「花へすべての心の人に花を」が披露されました。



### 栃木市の福祉団体

新設資金の募金呼びかけ

「まひるのほし」の上映会が、栃木市文化会館にて8月8日(日)に行われました。自立の会としては3回目、障害者福祉映画会としては2回目の映画会となります。午前部の部と午後部の部の2回で、上映の前には会長のあいさつと、ゆうの家の仲間や栃木養護学校の実習生・学生ボランティアの皆さんによる手話歌「花へすべての心の人に花を」が披露されました。

栃木市文化会館

〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001  
〒320-0001

# まひるのほし

## 第2回障害者福祉映画会



## 「まひるのほし」アンケートより



■ こんな映画もあるんだ。彼らの普段の姿をありのまま撮って。何の説明も解説もなかっただけに、出来上がった作品のエネルギーがより一層伝わってきた。人類の創世記って、彼らみたいだったのではないかなあと思いました。

■ アートを通して、表現したり、人や地域と関わりを持ったりしている姿がそのまま映し出されていました。ありのままということは、何も感じない人にとつては、退屈な映画になってしまいますが、私はとても大切だと思います。

■ 同じ現場で働くものとして、関わっている仲間の視点を別の角度からみるヒントを得たような思いです。

■ 一人一人のすばらしい感性に感動です。障害のあるなしにかかわらず、人間として自分を表現していくということは、同じであると思う。特に芸術で生きていくという意味では…。その人の中のがやきをいかに引き出していけるか？自己満足のところから引き出せるか？…がサポートする側のむずかしさか、と思いました。

■ 熱い映画だったけど、絵がうまかった。



■ どんな子でも、一人一人目的を持って生まれてきているとわかっていても、やはり毎日の生活の中で、健常者のように…とつい思ってしまう情けない親です。もっとこの世の常識を押しつけるのではなく、その子の持っている何かを探してあげなければならぬと、反省しました。

■ 障害のある人達との距離が少し短くなったかなと思う。



■ 個性を生かしたものが、展覧会として大きな舞台でみんなに観てもらえる、それが次の自信になって行くんだなあと思った。展覧会が開けるというのは良い。

■ 映画の前の歌が良かったです。演奏が上手でみんなもいきいきと歌っていたので感動しました。映画も良かったです。自己表現って、色々あっていいんだなって

思いました。

■ 日常が自然に伝わってきました。映画の中で説明がなかったので、案に先入観を持たずに、沢山感じることができました。

■ 記録映画というだけあり、ストーリーがわかりにくいと感じました。ただ、彼らの中の可能性をどう感じ、引き出すかというのが求められているように思いました。

■ 太陽のように輝きはなくとも、まさに「まひるのほし」。どんな人も何かしら力を持っているということをあらためて知らされた思いです。このように、その人のかくされた才能を引き出し、生かしてくれるような人がもっともっと存在して欲しい。

■ 大変良かったです。出演者の創作に打ち込む、そのひたむきな姿勢をかいま見ることができました。あの目の輝きをみんなが持つことができたなら、もっと世の中が良い方向へ変わっていくのだと思います。

■ 一人一人どうやってあれだけの才能を引き出せてゆかれたのか、とてもすてきな映画だったと思います。いつまでも観ていたいと思いました。映画の前の歌もきれいでした。皆さんきれいな心を持っていて、うらやましいようでした。

■ 作品を作っている人達のとてもイキイキした表情が印象的でした。もっと多くの人達にこの作品を観てもらいたいと思います。

■ 障害者だからといって何の変わりもないことがわかった。それぞれの人達の生活が楽しかった。

■ 「むずかしい」「わかりにくい」という前評判だったけど、私にとってはとても素直に受け止めることのできた作品でした。同時に知的障害者のまわりの人達が、もっと勉強して良い環境を作っていくことが大切だと思います。

